

みよた 長野県御代田町 議会だより

No.121

令和2年
9月定例会
2020

主な内容

令和元年度決算P2~3

議員が町政を問うP9~13

委員会レポートP14~15



かよ いな さくしゅく
通り稲作塾(面替)



みよたのお財布

使ったお金

59億9588万円

一般会計

入ってきたお金

62億8718万円

給料などに払うお金

人件費

9億8,463万円

困っている皆さんを助けるお金

扶助費

5億9,065万円

借金を返すお金

公債費

8億9,827万円

電気代などのほか、町の運営に必要なお金

物件費

11億6,753万円

道路などを保つお金

維持補修費

5,185万円

広域で行う消防などにかかるお金

補助費

7億3,749万円

他の会計に移すお金

繰出金

6億9,320万円

いざというときのために貯めておくお金

積立金

7,299万円

道路・建物の整備などに使うお金

投資的経費

7億9,927万円

2億9,130万円

差金 (来年度に繰り越し)

町税

24億8,451万円

みなさんから税として集めたお金

保育園に入ったお金など

町営住宅の家賃など

ふるさと納税などの寄付金

旧庁舎片づけなどで貯金を取り崩したお金

7,139万円

7,815万円

1億1,971万円

2億3,957万円

2億3,590万円

1億2,488万円

1億2,488万円

1億2,488万円

1億2,488万円

地方交付税

11億6,548万円

国や県からもらう自由に使えるお金

4億4,006万円

4億4,006万円

国庫支出金
県支出金

8億8,894万円

国や県からもらう使い道が決められたお金

4億3,859万円

国や銀行から借りたお金

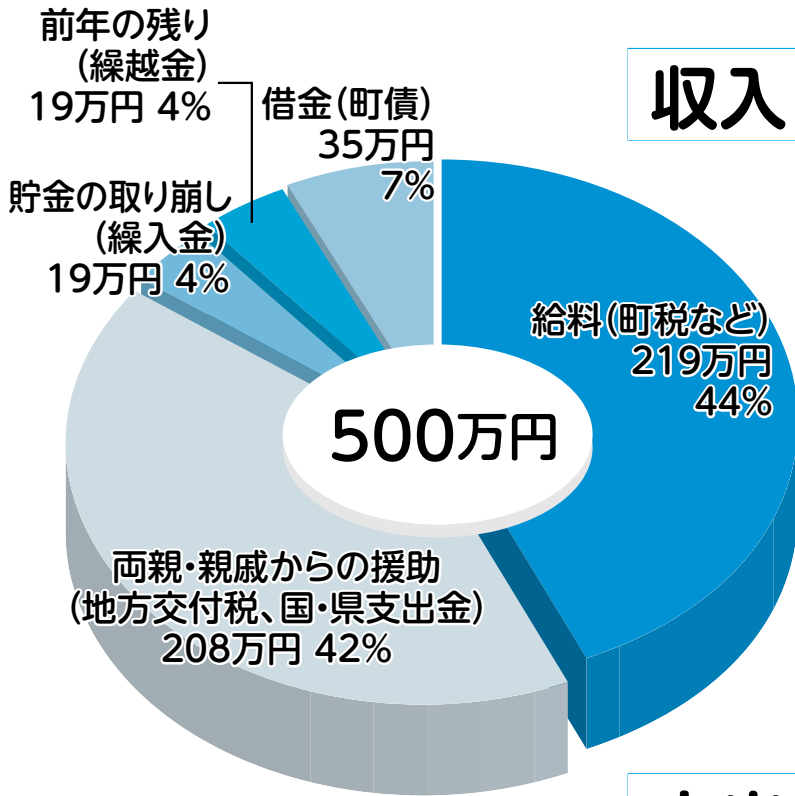
町が得たお金

県や国からもらったお金

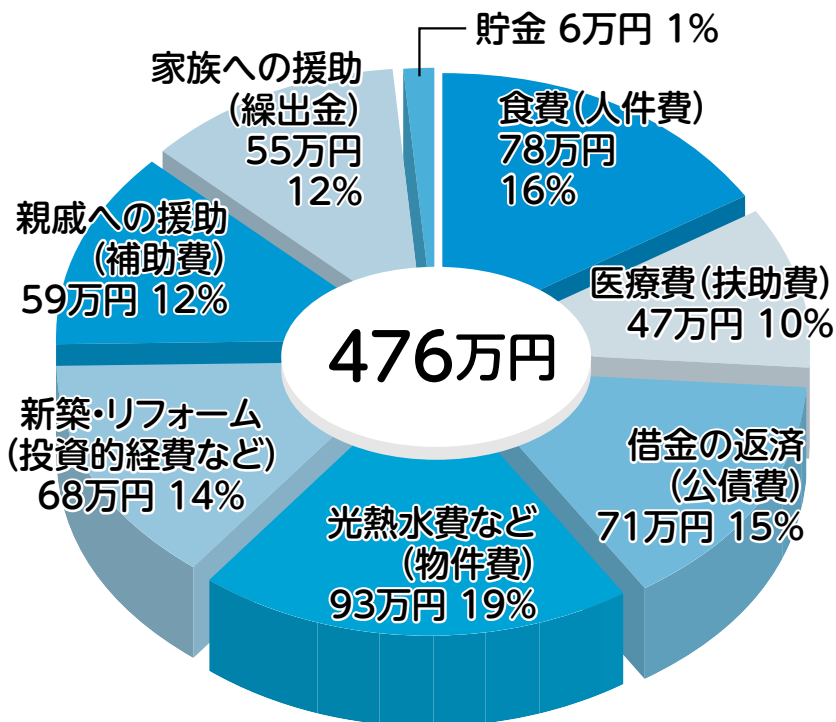
借金

令和元年度の収入を 500万円の家計におきかえると？

収入



支出



特別会計

国民健康保険

- Ⓐ 17億4,956万円
- Ⓑ 16億8,916万円

介護保険

- Ⓐ 10億6,820万円
- Ⓑ 10億4,940万円

公共下水道

- Ⓐ 7億6,022万円
- Ⓑ 7億5,685万円

他に、7つの特別会計などがあります

9月定例会は9月4日に招集され、9月16日までの13日間の会期で開催された。

専決処分事項の報告3件、規約案1件、事件案2件、条例案3件、決算の認定11件、補正予算案5件、報告2件、諮問1件で、町側から提出された議案25件を原案どおり承認・可決した。

専決処分

Q みよたんプレミアム付商品券について申し込み締め切りの延長は、町民への周知が不十分で申し込みがなかったためか。

また、現在の申し込み状況は。

A 往復はがきで、世帯に購入予約申込書を配布したが、世帯申し込み率34・8%、発行総数申し込み率22・4%と低かったため、申込期日を延長し詳細な内容を全世帯配布の

質

疑

チラシ、ホームページ、折込などで周知した。

現在、問い合わせなども多く、申し込み数も増加している。各種の努力を続けて2万冊の到達に努める。

路線認定

Q 一里塚のべバリー地区内の新規町道路線認定3件についての理由は。また、未舗装部分の今後の舗装予定は。

A 地区の開発時に整備された路線で未認定であった。将来的に住宅地としての可能性も

あることから、新たに町道に認定する。
未舗装部については、現時点では整備する予定はない。
今後の沿線の住宅の建設状況や、路線の利用状況をみて検討する。



開発が進むべバリー地区

令和元年度決算

Q 人口が増えている中で可燃ごみが減少した理由は。

A 家庭系は増加傾向だが、事業系は減少している。事業系の減少は、資源化が進んだこと、事業者及び商工会の会員の減少が原因と推測する。

Q 橋梁修繕事業の整備率と全体完了の見通しは。また、交付金の状況は。

A 本年度末の整備率は90・9%になる。



補修完了の昇龍橋

補修工事が完了するのは令和5年までの予定である。その後も橋梁がある限り、補修の繰り返しとなる。

交付金の要望事業費に対する内示率は、昨年38・6%、本年19・4%。全国的に災害が多発し、補助金の確保は厳しい状況である。

Q 住宅新築資金の国への償還終了に伴う現在の滞納件数と滞納額は。

は。また、返済の対応は。

A 滞納件数は33件、滞納額は約1億6千万円である。返済状況については、現在調査中で、対策を検討する。

令和2年度補正予算

Q ふるさと納税住民事業支援金の内容は。

A 継続的に寄付者の増加を図るため、ふるさと納税を原資とした住民のまちづくり活動を応援する補助制度を創設した。

この制度の取り組みを公表し、継続的に寄付をいただける方を増やしたい。



初日①



初日②



最終日

賛否一覧

議案名等	議員名簿	出席者数	賛成	反対	退席	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
							内堀喜代志	荻原謙一	茂木重幸	古越雄一郎	池田るみ	井田理恵	徳吉正博	小井土哲雄	仁科英一	池田健一郎	古越弘	笹沢武	市村千恵子	五味高明	
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情		14	12	1	0	採	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書		14	12	1	0	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

*可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、同…同意、採…採択
 *議長は採決に加わりませんので、「-」で表示します。（議長 14番 五味 高明）

■全会一致の議案など

専決処分
専決処分事項の報告について(令和2年度御代田町一般会計補正予算第5号) プレミアム付商品券事業の経費に関する補正予算。
専決処分事項の報告について(令和2年度御代田町一般会計補正予算第6号) 法人町民税の還付金及び還付加算金に関する補正予算。
条例の改正等
御代田町保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例案について 御代田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について 御代田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について 国の方針である幼児教育・保育の無償化のため、上位法令等の改正に伴い改正するもの。
予算・決算
令和元年度御代田町一般会計・各特別会計決算の認定について 質疑：4ページ、委員会審査：14～15ページ
令和2年度御代田町一般会計・各特別会計補正予算案について 質疑：4ページ、委員会審査：14～15ページ
人事
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 7ページ
陳情・意見書
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める陳情 6ページ
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書 6ページ
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書 6ページ
その他
佐久市・北佐久郡環境施設組合の事務所の移転及び規約の変更について 12月1日に佐久平クリーンセンターに事務所を移転するもの。
令和2年度 国庫補助 G I G Aスクール構想パソコン端末購入契約について
町道の路線認定及び路線変更について
専決処分事項の報告について(井戸沢一般廃棄物最終処分場へ搬入待機中の車両に案内板が接触した事故に係る損害賠償について)
請願の処理の経過及び結果の報告について 令和2年6月「新型コロナウイルス感染拡大に伴う経営支援を求める請願」に対する経過報告。
令和元年度御代田町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 財政健全化法に基づく諸数値の報告。

陳情は、こうなりました

陳情名	陳情者	趣旨	委員会意見	担当委員会	本会議結果
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める陳情	御代田町 教職員組合 代表 土屋 浩	35人学級推進や、複数の学年を1クラスで受け持つ複式学級の解消のため、義務標準法等の改正及び教育予算の増額が必要である。	○採択 ・コロナ禍において、学校内が密にならないようにするためにも、少人数学級が重要である。 ・長野県内では実施されているが、自治体によって財政的に大変であり、国が予算の増額等をすべきである。	総務 福祉 文教	全会一致で 採択
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情	御代田町 教職員組合 代表 土屋 浩	平成18年に義務教育費の国庫負担割合を2分の1から3分の1に引き下げたため、地方財政を圧迫し、教育の地方格差の拡大が懸念されている。義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充が必要である。	○採択 ・国庫負担制度は必要不可欠である。 ・財政的に地方が頑張っても、すべて持ち出しになってしまう。国庫負担の割合を元に戻すべきである。	総務 福祉 文教	賛成多数で 採択

▼国へ意見書を提出しました▼

国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書

豊かな教育を進めるため次の事項を強く要望する。

- 1 国の責任において、35人学級を推し進めるために、義務標準法改正等を実行すること。また、そのための教育予算の増額を行うこと。
- 2 国の複式学級の学級定員を引き下げること。

【提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣】

義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

教育の機会均等とその水準の維持向上のために、必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に復元するよう強く要望する。

【提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣】

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う急激な悪化に地方財政の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、通常の行政運営のほか、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を実現するよう要望する。

- 1 地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。
- 2 地方交付税については、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、弾力的に対応すること。
- 4 安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

【提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣ほか】

監査報告（抜粋）

監査委員

泉 喜久男
小井土哲雄

令和元年度決算審査の結論は

「正確かつ適正であると認めた」

【決算審査の所見】

憲法の話を少々します。監査と何の関係があるのかとの疑念を持たれる方もいるかもしれませんが。さて、日本国憲法第65条で「行政権は、内閣に属する。」と定めています。このことから国家公務員のみが行政官のようですが、憲法第94条で「地方公共団体は・・・行政を執行する権能を有し・・・と定めており、このことから地方公共団体に奉職する皆さんもまた行政官であります。従って、皆さんは行政の意義や特質についてのアウトラインを認識しておく必

要があるのではないのでしょうか。

最近では公務員あるいは地方公務員といわれますが、かつては役人や官僚と言われました。今でも格式張っていえば「行政官」です。時には官僚とも言われます。行政官であり官僚である皆さんの仕事の特性は一般に「不親切、尊大横柄、役人根性、杓子定規、繁文縟礼、法規万能主義、縄張り主義、権威主義、特権意識」と言われてきました。

し、同一条件にもかかわらず税額等が異なっているのでしょうか。法令等に從って画一的に対応することが皆さんの職務ではないのでしょうか。先に

申し上げた批判項目の大部分は公務員として順守すべき事柄です。もちろん、不親切とか尊大とかさらには横柄とかの印象を与えないように努めることは当然でありましょう。したがって、杓子定規や画一的から外れた融通を利かせすぎると当然に監査委員から指摘されることもありまのでご留意をお願いするところです。

人事案件

人権擁護委員の推薦につき

意見を求めることについて（諮問）

尾臺 良左 氏（上宿区在住）

就任という意見を

付することに決した

任期は

令和3年1月1日から
令和5年12月31日まで

表紙の写真

面替々、通り稲作塾、無農薬モチ米の稲刈り、ハゼ掛けの風景です。

例年だと多くの都市住民の方々、賑やかに盛り上がるのですが、今年は、時節柄、当町、隣町の新住民の皆さんとのんびり。収穫したら、この新米でモチつきです。

ホームページもご覧ください！



ホームページでは、議会の録画映像の他、過去の議事録・議会だよりなどを掲載していますので、ご覧ください。

御代田町議会



検索

議員の顔を覚えていただくために、顔写真も掲載しています。



議会を身近に感じていただければ幸いです。

進めています！ 議会改革

御代田町議会では、議会活動の活性化と効率化をめざした議会改革の一環として「ICT推進委員会」を設置し、タブレット等を活用した議会運営の検討を進めてきました。その後、町当局と合同の「タブレット導入検討委員会」を設けました。



平成30年	11月	議会運営委員会で先進地視察(山梨県富士川町) 議員6名、事務局2名
令和元年	8月	議員有志でICTセミナー受講 議員5名
	10月～12月	議会全員協議会にて議会のICT化についての方針検討
	12月13日	議会にてICT推進委員会を設置
令和2年	2月19日	タブレットを用いた議会運営システムのデモ研修 議員13名、町12名参加
	2月～6月	議会ICT推進委員会で議論を進めた
	7月16日	第1回議会タブレット導入検討委員会の開催 議員4名、町5名、事務局2名
	8月20日	第2回議会タブレット導入検討委員会の開催
	8月28日	タブレット講習会 議員12名 事務局2名 中学3年生向けで導入したタブレット予備機を借用して講習会を開催
	8月31日	タブレット講習会 議員2名
	9月4日～16日	9月定例会にて、タブレットによる議会運営を試行
	10月2日	第3回議会タブレット導入検討委員会で導入する方向性を決定

9月定例会のタブレット試行の様子





池田 るみ 議員

小中学生へのインフルエンザ予防接種の補助を 2千円を上限に令和2年度のみ実施したい



小・中学生保護者 各位
副知事
**インフルエンザ予防接種を
早めに受けましょう**

町では、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備え、小・中学校における集団感染防止及び感染した際の重症化予防を目的としてインフルエンザの予防接種（任意接種）の費用の一部を補助します。

【対象者】 小学1年生～中学3年生
【補助額】 対象者1人につき2,000円
※実際の費用が2,000円以下の場合は実際の費用の額
※他の補助金制度に基づき補助を受けた金額を除く
【申請対象】 対象者1人につき1回
【申請方法】 別途「補助金交付申請書兼口座振込依頼書」に「補助金（等しい）を交付して保健福祉課健康推進係まで申請してください。（郵送可）
※消えないボールペンで記入してください。
※なるべく世帯で申請書一枚にまとめて、宛先手と同じ口座を指定してください。
【申請期間】 最終接種日から60日又は来年3月31日までのいずれか早い日

【接種場所】
町内医療機関
副知事保健医療課（10月中は予約不要） 0267 (32) 4711
井田医院（豊手町） 0267 (32) 3845
宮下内科循環器科クリニック【中学生以上】 0267 (31) 3033
（10・11月中はかりつけのみ、定期受診時接種（予約不要））
みやまファミリークリニック（豊手町） 0267 (31) 6755
こまつ内科・消化器内科クリニック（豊手町） 0267 (31) 5411

〒389-0292
副知事庁舎 1794-6
保健福祉課健康推進係
（夜間1階6番窓口）
TEL 32-2554

保護者への通知文

町長 学校現場の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ

町長 学校現場
の混乱を防ぎ正
常な運営をしていくた
め、小中学生を対象に
上限2千円の補助を、
令和2年度のみ実施し
たい。

教育次長 平成
30年度は北小が
74名の5クラス、南小
が12名の7クラス、中
学校は56名で学級閉鎖
はない。令和元年度は
北小が18名の1クラ
ス、南小が63名の2フ



中学生のタブレット授業



市村千恵子 議員

来年度の予算編成の課題と対応は

より一層の経費の節減に努める



問 コロナ禍においての令和元年度の決算状況は。

答 企画財政課長
町税では法人町

民税が3億円、ふるさと納税も1億円を超え、財政調整基金は26億8千820万円と過去最高の残高となり、令



プレミアム付商品券

答 企画財政課長
法人町民税の大幅な減が見込まれ、ふるさと納税は当初予算で2億円を計上したがコロナ禍のもと、経済状況の不透明感から増額は相当難しい。

和元年度の決算剰余金処分で、1億2千700万円を財政調整基金へ積み立てた。令和元年度の決算上ではコロナの影響は大きく出なかつたと考えている。

問 令和2年度が半年経過する中で現在の状況は。また、町税、ふるさと納税、国の臨時交付金などの財政確保の見通しは。

答 企画財政課長
町民課長 4月

28日以降、出生届けが提出されたのは39名である。

基準日以降に生まれたお子さんに対する給付金は、検討は行うも

財政調整基金を2億1千31万円繰り入れ、町単独事業を実施した。国からはコロナ対応地方創生臨時交付金が2億5千137万円が交付

され、プレミアム付商品券事業や独自事業に充当した。

令和2年度の財政運営は非常に厳しい状況である。

基準日以降の新生児への特別定額給付金の支給は実施は大変厳しい

問 基準日以降39人が生まれていく。新生児への定額給付金の支給の考えは。

答 町民課長 4月

28日以降、出生届けが提出されたのは39名である。

基準日以降に生まれたお子さんに対する給付金は、検討は行うも

の事業の実施は大変厳しいとの認識である。町長 担当課と協議してみたいと思うが難しい判断になる。

令和2年度の財政運営は非常に厳しい状況である。

学校給食費無償化は継続して実施するべきでは。

問 学校給食費無償化は継続して実施するべきでは。

答 町長 大変厳しい情勢の中ではあるが、十分に実行可能と考えている。

令和2年度の予算編成の課題と対応は。

企画財政課長
町税、譲与税や交付金の減収が見込まれ、

来年度の予算編成の課題と対応は。

企画財政課長
町税、譲与税や交付金の減収が見込まれ、

国等の動向を注視し、コスト意識を高め、より一層の経費の節減などに努める。

産業経済課長
プレミアム付商品券事業、10月からは



妊産婦乳幼児相談



内堀喜代志 議員

お互いの心の中で理解を深める パワーハラのない職場環境へどのような姿勢でのごむか



中途退職

問 本年度採用した職員と人事配置の意図は。

答 総務課長 保育士は、昨年度中途で2名が自己都合で退職したための補充と、3歳未満幼児保育の需要の増加で、保育士5名を新規採用した。一般事務職は一昨年

度、突然の自己都合退職者が多く、計画的な職員増が出来なかったため、その分を考慮して5名を新規採用とした。

新たな業務に対応するため、公認心理師1名を加えて、全体で11名を新規採用した。本年4月1日の職員総数は148名となった。

問 一昨年度は中途退職者が数名もしくはそれ以上いたが、昨年度の中途退職者の減少の要因分析は。

答 総務課長 平成30年度

中は定年退職者1名、定年前の自己都合退職者14名と突出した。

自己都合退職者は個別の事情があつて、偶々一昨年度に集中したと考える。

問 本年6月施行のパワーハラ防止法の町の対応は。

答 総務課長 本年4月1日、パワーハラ防止等に関する人事院規則が制定され、町においても、職場におけるすべてのハラスメントの防止、排除、問題が生じた場合の対応に関する規定を定めた。

問 パワーハラについて、正しい知識を

備え、パワーハラのない職場環境をつくる上で、どのような姿勢でのごむか。

答 副町長 町職員

のハラスメント防止に関する規定を遵守することは当然で、大切なことはハラスメントを起こさないことが最も大事である。

問 行政事務上の進め方や意見の違いで声が大きくなる場合が多々あるかと思う。その時は、別室で打合せするなど周囲への配慮が必要と考えるが。

答 副町長 上司が部下に話をするときは、理解してもらうように話をすることが大事である。上司自身が物事に対して理解する。理解した上で話をし、指導方針を持った中で話をしていけば、荒い言葉、言つてはいけない言葉、暴力的な言葉は出てこない。

職が重くなればなるほど責任がある。きちんと理解したうえで、理解できる表現をして、お互いの心の中で理解を深めることが大事だと思っている。

※他に、地域福祉計画の質問をしました。



パワーハラメント



井田 理恵 議員

学校給食無償化を教育的に深めるには

給食を食育に活かす取り組みが重要



や、住環境についての質問を入れ、現状を知り今後の対策につなげるように検討する。

している。次回質問の中に、熱中症予防の意識

教育的にどう深めていくのか。

ヤッホーブルーイングの操業で期待できる効果は勤務者の町内居住で人口増加にも期待できる

問 町長 教育の深化という点では給食の機会を今まで以上に食育に生かしていく取り組みが大事だ。

答 郷土学習の面で、フードマイレージなどをはじめとした輸出品と地元産のどちらを食べるのが地球環境にとって、望ましいかを考える場にした。

高齢者の熱中症対策で 住環境の調査を

医療機関で熱中症の診断から入院もある。大事に至らないような啓発や呼びかけを望むが。

次回からアンケートに 取り入れ検討したい

企画財政課長 事業所移転は本社機能で、稼働時には80名が勤務する。令和3年度に11名、4年以降は10〜20名の採用を予定し、入寮希望の場合は町内物件の借上げで、人口増加に期待する。

高齢者の熱中症 対策で、住環境の実態調査の考えは。近年の気温上昇で8月は28度以上の日は28日間となり、熱中症救急搬送は7割が65歳以上の高齢者とのことだ。

産業経済課長 工場等立地雇用促進事業補助金や工業振興補助金に当てはまれば助成していきたい。

保健福祉課長 介護高齢係で毎年、日常生活チェックリストの質問票を送付

町への貢献を示す同社に対し、支援や補助金で応える方策は。

産業経済課長 工場等立地雇用促進事業補助金や工業振興補助金に当てはまれば助成していきたい。



※他に、湯川ダムの機能強化について質問をいたしました。

保健福祉課長 介護高齢係で毎年、日常生活チェックリストの質問票を送付

高齢者の熱中症 対策で、住環境の実態調査の考えは。近年の気温上昇で8月は28度以上の日は28日間となり、熱中症救急搬送は7割が65歳以上の高齢者とのことだ。

令和2年度 9月 予定献立表(共調)①

日	献立	お弁当	お弁当	お弁当	お弁当	お弁当
1	火	ごはん	・ししゃもフライ ・やみつきビーマン ・じゃがいものみそ汁 ・梨	ツナ・油 あけ・み そ	牛乳・し しゃも	きゅうり・白 菜・スエのき・玉 ねぎ・長ねぎ ・菜
2	水	ごはん	・なすの チーズ焼き ・こんにやくサラダ ・フルーツポンチ	ぶた肉・ ツナ	牛乳・チ ーズ・わ かめ	米・小麦粉・ パン粉・じゃ がいも
3	木	ごはん	・さんまの塩焼き ・おくるみのサラダ ・豚汁	鶏あげ・ さんま・ かにかま・ ぶた肉・み そ	牛乳・こ んぶ	しいたけ・キ ャベソ・き ゅうり・パ ン粉・レモ ン汁・玉ねぎ ・大根・長 ねぎ
4	金	ごはん	・大豆のり風味揚げ ・ブロッコリーの サラダ ・ポトフ	大豆・ハ ム・ウイ ンナー	牛乳・青 のり	コンペレ ン・小麦粉 ・かたくりこ ・さとう・じ ゃがいも
7	月	ごはん	・信州プレミアム牛肉の牛丼 ・しょうがあえ ・おふのみそ汁 ・りんご	牛肉・み そ	牛乳	玉ねぎ・ニン ギン・キ ャベソ・ きゅうり・ しょうが・ 白米・長 ねぎ・りん ご

給食の献立表



荻原 謙一 議員

国の予算を活用し強化する 防災・減災を意識した公共事業は



問 第5次長期振興計画後期計画策定の進捗状況は。

答 企画財政課長 現在、専門部会による検討は、ほぼ終えている。

今後は、企画会議による原案の確定、審議会への諮問・答申を経て、今年度中の議会において内容を示す予定である。

問 計画策定の課題と基本方針は。

答 企画財政課長 全国的にも人口減少社会の到来、少子超高齢化、グローバル化、それに、社会保障等の課題を抱える中で、

当町においても、財政基盤を確立しながら、より一層魅力的なまちを創造していくことが必要であると考えている。

問 将来を見据えた、町長が目指すべき都市像は。

答 町長 町の魅力づくりという点では、かりん道路と道路に付随した地点としての御代田駅前をどのようしていくのかが大変重要であると考えている。

防災・減災を意識した公共事業は、現在策定作業中の後期計画にできるだけ集中的に行っていくきたい。

今後、毎年のように心配されるであろう土砂災害への備えを万全にしていけることが、私に課せられた使命であると感じている。

国の予算を活用し、防災・減災への取り組みを強化していく考えである。

浅間山に抱かれた高原のまち



浅間山に抱かれた高原のまち

環境整備の支援は

住民協定の中で役割を明確にする

問 雪窓向原線植栽の管理状況は。

答 建設水道課長 中学校入口交差点からJA佐久浅間伍

賀支店付近まで、およそ1千860m、196箇所を2つの景観形成委員会（企業等・向原区）と町が小諸北佐久シルバール人材センターへ委託して管理している。

問 今後の環境整備（植栽）の計画は。

答 建設水道課長 町が管理している48箇所の植栽樹は、

2つの景観形成委員会と同様に補助金を交付して管理をする方法がある。

また、町が花の苗や肥料を用意し、植える作業から草取りなど、日常の維持管理を沿線の住民や栄町区の方々にボランティアで行って頂く方法が考えられる。

その活動に対する支援は、町と協議し、住民協定の中でそれぞれの役割を明確にしていければと思っている。



雪窓向原線の植栽樹

(審議内容の一部を掲載しました。)

コロナ対策 スマホで電子決済

総務福祉文教

令和元年度一般会計決算認定

地域おこし協力隊は、元年度3名が2年度は1名と減少しているが、募集は続けるのか。

A 2年度は、移住関係業務のための募集をして1名を採用した。

昨年度の町PR動画制作の2名欠員分については、今後募集する予定はない。

役場庁舎整備基金は、旧庁舎の解体も終わったが、今後どのようにするのか。

A コロナ禍を考慮して、急速充電器の設置工事も急な工事でないため、来年度に見送った。それも含め、今後庁舎の維持管理にも費用が必要となるので基金積立は必要と考えている。



整備された庁舎跡地

地方税滞納整理機構の実績は。

A 地方税滞納整理機構に10件を移管し、令和元年度時点の滞納金額の合計が75万6千円で、実績は32万3千円の回収ができた。

令和元年度国保会計決算認定

国民健康保険税の不納欠損額が、昨年度より大幅に増えているが、その要因は。

A 平成28年度に執行停止判定を行い、延べ人数102名で、実数は60名前後だが、平成20年度から28年度までの滞納繰越分の不納欠損を、令和元年度に行ったことによる。

所得に応じて減免を受けている世帯数は。

A 7割減が36世帯、5割減が48世帯、2割減22世帯で、合計106世帯となっている。

令和2年度一般会計補正予算

コロナ対応スマホ決済システム変更委託料24万円は、スマホにより、納税できるシステムを導入したいとのことだが詳細は。

A 電子決済は、コンビニ収納を代

行している「地銀ネットワークサービス」の収納手段のひとつである。

コンビニ納付書には、バーコードが記載されているが、スマホで読み取り、「LINEペイ」と「ペイペイ」の2種類で、支払いをすることができ。

電子マネーで対応できる税の種類や納付金額は。

A コンビニ収納と同じもので、町県民税(普通徴収、固定資産税、国民健康保険税、普通徴収、軽自動車税)の4つである。
一回当たり30万円までの納付が可能である。



スマホで納税

委 員 会



農業者向けみよたん給付金 申請開始

町民建設経済

令和元年度一般会計決算認定

昨年度、龍神の杜公園の立木の剪定や芝刈りは十分ではなかった。今年は適正に管理している。その経緯は。

A 平成30年度は委託先が変わった。そのため勝手が分からなかったのか、その都度委託先へ連絡して、対応した。

今年度は、同じ業者へ委託したが、芝刈りの回数を一回増やし、枝払いは職員で対応した。芝、落ち葉の管理など今後精査する。



龍神の杜公園

融雪剤散布の基準は。

A 降雪の注意報や警報が出た時、予備散布をすることにより、雪が降り始めた時路面が融けるので、除雪

がスムーズに進む。

融雪剤散布は、雪の量よりも気温に左右されやすく、気温が低いと路面凍結もしやすいので散布量も増える。

道路除雪経費の補償金の業者数と基準は。

A 除雪業者10社、融雪剤散布業者2社、待機は各社1名で、1回の依頼につき12名の待機になる。待機費用は12名で7回の合計は81万6千円になる。

新フリーンセンターの整備負担金の合計は。

A 平成26年度から令和元年度の負担金は、1億7千122万円である。今年度も5千800万円の予算である。

12月稼働が始まると、事業系のごみの一部はイーステージに持っていくが、全体でいくらかの費用減が見込めるか。

A 町全体の可燃系のごみは1千500トン強で、家庭系が900トン、事業系が600トンとなっている。家庭系900トンと事業系100〜200トンは新フリーンセンターへ搬入し、残りはイースター

シへ搬入する。処理費用と負担金については組合と相談する。

令和2年度補正予算

農業者向けみよたん給付金10万円の受給基準は。

A 昨年度の農業収入を100万円以上申告していて、同年同期と比較して農業収入が減少している農家を対象とする。

申請に必要な書類は、申請書、確定申告の写し、口座振り込み関係書類である。周知方法は、町のホームページと広報やまゆり、J A佐久浅間、農業委員会などを予定している。

必要な書類は、町のホームページからのダウンロードやJ A御代田支所、各営農センターに置く。



給付額は1農業者当たり10万円だよ!!

農業者向けみよたん給付金

みんなの
声

なかむら さとこ
中村 里子さん
(荒町)

今年の夏、御代田町へ移住してきました。雄大な浅間山や豊かな自然、静かな環境の中で生活できる事をとても幸せに感じる日々です。

さらに、ご縁があつて、稲作や畑作業などをお手伝いさせてもらうようになり、ガラリと人生が変わりました。今では毎日のように畑を手入れしたり、草刈りをしています。自然と関わることが楽しくて仕方ありません。



綺麗な水辺にできるセリやクレンソ、無農薬の田んぼに浮かぶ絶滅危惧種のミズオオバコやサンショウモ、ゲンゴロウにヤゴに鮎

にどじょう。貴重な生き物に溢れています。

御代田町の自然の豊かさは、まぎれもなく大切な財産だと感じています。環境を豊かにするだけでなく、人の心も豊かにしてくれると感じます。

これまでに御代田町の自然を守ってこられた方々に感謝しています。そして、これから、微力ではありますが、私もそのお手伝いをしていきたいと思えます。



くまの かなえさん
熊野 かなえさん
(一里塚)

北欧に留学していた学生時代、充実した福祉制度や公共施設に外国人留学生にもかかわらず、素晴らしい恩恵を受けた経験があります。

帰国後、御代田町の美しい自然環境に北欧の生活を重ね、手工芸の制作活動を始めました。麦わら工芸「ピンメリ細工」の材料、ライ麦の藁を栽培・制作するなかで、農作業への助言者や、手を差し伸べてくださ

る地域の方々との繋がりが生まれ、麦の藁を飲み物用のストローに加工する「MIYOTAライ麦ストロープロジェクト」に発展しました。

まちづくり支援金の助成制度を受けることにより、ハートピアみやた、やまゆり作業所との作業連携にも繋がり、公共性のある取り組みへの原動力となつていきます。

町や自然からの受けた



多くの実りをこの町にお返ししていきたいと考える日々です。

編集後記

コロナ下にあつて、季節の移ろいを感じさせてくれるお祭り、運動会などのイベントが相次いで中止となつているなか、いつの間にか稲穂が黄金色に染まり、稲刈りの時期となつてしまいました。

議会におきまして、対コロナということで、一般質問時間短縮、傍聴の中止など様々の対応を強いられ、本来のあるべき姿から遠く離れての運営に、戸惑っております。

早くこの事態が収束し、人々が気兼ねなく集える日常が取り戻されるように、切に望むものです。

茂木重幸

広報広聴常任委員会

委員長 萩原 謙一
副委員長 内堀喜代志
委員 市村千恵子
仁科 英一
井田 理恵
池田 るみ
古越雄一郎
茂木 重幸